

教科目名 政治・経済 (Politics&Economics)

学科名・学年 : 全学科 1 年

単位数など : 必修 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 堀 栄造 (1E, 1S), 久保山 力也 (1M, 1C).

授業の概要			
日本国憲法, 民主政治, 国際政治, 等について学び, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 日本国憲法と民主政治について学び, 社会に対する眼を養う. (定期試験)			
(2) 国際政治について学び, 地球的視点で物事を考える力を身に付ける. (定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	日本国憲法の制定と基本原理 基本的人権の保障 平和主義 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治	○日本国憲法の基本原理について理解できる. ○人権について理解できる. ○自衛隊, 日米安全保障条約, 国連への協力について理解できる. ○国会, 内閣, 裁判所について理解できる. ○地方自治について理解できる.	【理解の度合い】
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	後期中間試験の解答と解説 戦後政治と政党、選挙と政治意識 国際関係と国際法 国際社会の組織化と変容 国際政治の動向 国際政治の課題 地球市民社会における日本の役割	○政党政治について理解できる. ○主権国家と国際法について理解できる. ○国際連合について理解できる. ○冷戦の終結と新秩序の模索について理解できる. ○核抑止, 核軍縮について理解できる. ○地球市民社会における日本の役割について理解できる.	【理解の度合い】
15	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意		しっかり復習すること.	【総合達成度】
教科書		間宮陽介ほか著, 『政治・経済』, 東京書籍.	
参考図書			
自学上の注意		授業内容をそのつど復習すること.	
関連科目		現代社会, 法学概説, 経済学概説.	
総合評価		達成目標の (1), (2) について 2 回の定期試験により評価する. 評価が 60 点以上を合格とする. 再試験は, 総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する.	
			【総合評価】 点